



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部 活動報告

発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学医学部附属病院総合診療科 内
E-mail:sato.juichi.v7@f.mail.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No. 50 (2025. 6) 本号の編集担当者 林寛之

【支部情報】

予定

- 1) 『第14回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』
2025年11月30日(日) 会場：福井大学医学部附属病院 臨床研修センター 白翁会ホール
- 2) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2026』
2026年3月14日(土) ZOOMによるオンライン開催

報告

- 1) 『中部ブロックポートフォリオ発表会*2025』
2025年3月15日(土) ZOOMによるオンライン開催
今年6名の専攻医にショーケースポートフォリオをご発表いただきました。昨年と同様にレベルの高いポートフォリオを提示いただき、盛況な発表会となりました。また名古屋大学総合診療科 近藤 猛先生に「生成AIを活用したPF作成」についてミニレクチャーをしていただきました。参加者からは続編を希望する声などがあり、大変好評でありました。
【最優秀ショーケースポートフォリオ賞】
名古屋大学医学部附属病院総合診療専門研修プログラム 山田 陽平先生
【優秀ショーケースポートフォリオ賞】
三重大学総合診療専門研修プログラム 田中 輔先生
【実行委員会特別賞】
藤田医科大学総合診療科プログラム 石原 稜己先生
来年度は2026年3月28日(土)に開催予定です。
文責 中部ブロック支部PF発表会実行委員長 安藤友一(名古屋大学総合診療科)
- 2) 『総合診療専攻医オリエンテーション』
2025年5月17日(土) ZOOMによるオンライン開催
総勢65名(半数が専攻医)の参加を得て盛大に開かれました。本企画は新専攻医がスムーズに研修を開始できるように、毎年各支部で企画運営されており、今年で9回目です。専攻医が研修を乗り切るためのサバイバル術の伝達(情報伝達)、各プログラムの専攻医同士の交流の2点を主目的として、「研修手帳活用術」、「ポートフォリオで成長を実感しよう」、「生涯教育のススメ」の3つのセッションを行いました。3つの柱は変えずに、年々変化する研修制度、研修手帳、ポートフォリオに対応するべく、新専攻医だけでなく、先輩専攻医、指導医も学習者として参加をしていただきました。今年、研修手帳そのものだけでなく、どのようにしたら研修医が年間を通して順調に成長できるか、数プログラムよりスケジュール管理システム(表)が共有されました。
事後アンケートでは研修手帳や制度への理解、ポートフォリオのセッションでは実例共有への高評価、生涯教育セッションでは横のつながりへの期待など、高い学習成果が報告されました。(文責：宮崎景)

【活動報告】

★福井支部

1) 2025年5月17日 市民公開講座の開催-ドクターGの「あんな医者、こんな症状の見聞き術 part1」-

2025年5月17日に市民公開講座を福井大学文京キャンパスで開催しました。総合診療・総合内科センターでは年に2回市民公開講座を開催しています。今回の内容は「咬む/咬まれる」！犬、猫からはじまりヒト、蜂、蛇、熊、ダニ、くらのげの動物咬傷についてとオーラルフレイルについて講演を行いました。福井は山、野原、海、川と自然豊かであるがゆえに動物咬傷に遭遇する確率も高いです。老若男女問わず様々な動物咬傷について多くの質問をいただき関心度が高いことがうかがえました。

また、フレイルと健康寿命について、食事と筋力が密接な関係にあることをお伝えし、そもそも食事を満足にすることができないようになる、オーラルフレイルについて講演しました。講演後のアンケートでも好評いただき、引き続き市民公開講座を続けていく予定です。次回の開催は2025年10月25日です。



2) 2025年5月13日 GGG セミナーを開催しました。

今回のテーマは、「Secrets of pediatric emergency medicine」
ブリティッシュコロンビア大学 教授 Dr.Ran D Goldman
内容は秘密ですが、将来への視野もひろがるセミナーとなりました。



3) 2025年5月24日、25日「福井県ポートフォリオ発表会」を開催しました！

2025年5月24～25日、亀田ファミリークリニック館山 院長 岡田唯男先生をお招きしご講演いただくとともに、

福井県ポートフォリオ発表を開催いたしました。ご講演では学生の皆様にもご参加いただき総合診療医や家庭医療の専門性やプライマリケアの重要性についてお話しいただきました。ポートフォリオ発表では3人の専攻医の先生に発表頂きました。どれも興味深い症例ばかりで濃密に意見交換が交わされていました。岡田先生ありがとうございました！



4) 2025年5月10日 GGGセミナー「あなたの知らない診療所の世界」@えいぼう を開催！

GGGセミナーでは有名講師をお呼びしてレクチャーいただく機会が多いのですが、今回新企画として、医学生を対象に、実際にえいぼう（永平寺町立在宅訪問診療所）の診察室を使って、5月10日（土）9時～正午まで、症例シミュレーション「あなたの知らない診療所の世界」を開催しました！

最初に総合診療部・林先生から臨床推論やコミュニケーション力の重要性などのレクチャーのあと、3つのブースに分かれて、実臨床の世界を体験してもらいました。

林先生のブースでは、BPSモデルから臨床推論を体験してもらいました。

えいぼうの楠川+今庄診療所の新野先生のブースでは、認知症患者における戦略と多職種連携についてのシミュレーションでした。

総合診療部・伊藤先生+山村先生+大濱先生のブースでは、在宅医療の現場とAdvance Care Planningの実際を追体験してもらいました。

診察室や患者さんの自宅を再現した部屋でのシミュレーションは、臨場感があり、より現場に近い感覚を味わってもらえたのではないかと思います。実施後のアンケートでも今後も参加したいとの意見を多くいただきました。スタッフ側も変装して役になり切り、楽しく準備・参加させていただきました。

今後も大学と診療所でコラボして、多くの学生さんに、総合診療・家庭医療の魅力を感じる企画を行っていきたいと思います。



★富山支部

<PF 勉強(えびカン)>

毎月富山近隣プログラム合同でポートフォリオ勉強会を行っています。

専攻医からは CbD の提示や、ポートフォリオ発表がありました。

本年も引き続き、みんなでワイワイと頑張っていきたいと思います。興味ある方はお試し参加も可能ですので LINE 公式アカウントでアナウンスしておりますので、ぜひご連絡ください。



★岐阜支部

【活動報告】

1) 2025 年度第 1 回ぎふ総合診療カンファレンス

日時：2025 年 4 月 16 (水) 20 : 00 ~ 21 : 00

場所：オンライン開催

参加：専門医 1 名、専攻医 7 名

内容：ヘルスプロモーション (個人)

2) 2025 年度第 1 回ぎふ総合診療レジデントデイ

日時：2025 年 5 月 9 日 (金) 13 : 00 ~ 17 : 00

場所：岐阜大学医学部附属病院 + オンライン

参加：専門医 2 名、専攻医 7 名、初期研修医 2 名

内容：13 : 00 ~ 専攻医振り返り

13 : 30 ~ レクチャー (PV ループを書こう)

16 : 00 ~ 鑑別疾患ブラッシュアップ (簡易事例検討会)

16 : 45 ~ 総合診療科の医局会 (プログラムの改善にむけての会議、今後の予定などの確認)

【今後の予定】

1) GP-COMERnet 2025 (GIFU PRIMARY CARE AND COMMUNITY MEDICINE RESEARCH NETWORK GROUP 2025 : 岐阜プライマリ・ケア・地域医療研究ネットワーク)

日時：2025 年 6 月 7 日 (土) 14 : 30 ~ 17 : 00

場所：白川村南部地区文化会館 (白川村平瀬 126-11)

講師：埼玉県立大学 教授 竹島太郎 先生

講演・ワークショップ：「ここがポイント！質の高い学会抄録を書こう！」

2) 2025 年度第 2 回ぎふ総合診療カンファレンス

日時：2025 年 6 月 11 日 (水) 20 : 00 ~ 21 : 00

場所：オンライン開催

内容：総合診療 7 つの資質の省察の書き方・添削

3) 第10回ぎふ総合診療レジデントデイ

日時：2025年7月11日(金)13:00~17:00 場所:岐阜大学医学部附属病院

4) 第2回岐阜県総合診療専門研修プログラム指導者講習会

日時：2025年7月19日(土)16:00~18:00

場所：県北西部地域医療センター国保白鳥病院

5) 2025年度第3回ぎふ総合診療カンファレンス

日時：2025年8月13日(水)20:00~21:00

場所：オンライン開催

★静岡支部

【活動報告】

1) 在宅ケア多職種カンファレンスを開催しました／菊川市家庭医療センター（5月19日）

菊川市では、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・福祉の専門職が連携し支える体制づくりを進めています。

その一環として、定期的で開催している「在宅ケア多職種カンファレンス」を、5月9日(金)に実施しました。利用者を中心に据えた支援の方向性について、多職種で意見交換を行い、よりよいケアのあり方を共有しました。また、地域の倫理的課題やその対応について学ぶために、いずれは地域の倫理コンサルテーションチームとして機能することを目標に、2023年より「東遠倫理カフェ」という活動を継続しています。これまでは有志による勉強会として開催しておりましたが、今年度より参加対象者を拡大して事例検討会を定期的で開催していく予定です。5月19日(月)には今年度第1回として「施設ケア療養費のために経済的困難を抱えている事例」について話し合いました。

今後も顔の見える関係づくりを大切に、より良い地域連携をめざして取り組みを続けていきます。



2) 浜松医科大学附属病院総合診療研修プログラム (SFM) プチ説明会（5月毎週月曜日 19時30分~20時）

5月より総合診療医・家庭医療専門研修の様子をお伝えするプチプログラム説明会をスタートしました。総合診療専攻医+指導医がペアとなり、消化管内視鏡研修、女性診療、外国人診療など専攻医の関心に依じて指導医と語り合いました。

ラジオ感覚で耳だけ参加も可能であり、たくさんの学生のみなさんにご参加いただきました。大好評につき6月以降は専攻医×指導医の座談会として継続することが決定しました！

HPで随時開催についてご案内を進めますので、今後ご期待ください！

3) 病院総合医養成コース (SHM) 勉強会、説明会 (5月27日 20時30分～21時30分)

2026年度より浜松医科大学総合診療研修プログラム病院総合医養成コース (SHM) の研修を開始する予定です。今回第1回勉強会、説明会を開催しました。勉強会では「病院総合医の勉強法、重要最新論文 Update」レクチャーを行い、その後、プログラム説明、個別面談を行いました。学生、研修医に加えて、専攻医、プログラムに関連する施設の指導医も参加していただき、新たなプログラムを盛り上げていく機運が高まりました。



【今後の開催予定】

◆専攻医に聞く！「どうしてあなたは SFM へ？」座談会 (30分)

日時：6月未定 場所：ZOOM

◆第2回 病院総合医養成コース (SHM) 勉強会、プログラム説明会

日時：2025年7月7日(月) 20:30～21:30

場所：ZOOM

内容：レクチャー「不明熱の診断推論」、プログラム説明、個別相談

★三重支部

【活動報告】

1) レジデントデイ 開催

○日時：2025年3月18日(火) 15:00～18:00

会場：三重大学医学部内講義室

三重総診レジデントデイを開催。専攻医4名、指導医が参加しました。

ビデオレビュー、ケースディスカッションなど、学びの多い勉強会となりました。

新家庭医療専門研修プログラム修了予定2名の修了式も行いました。

○日時：2025年5月22日(木) 15:00～18:00

会場：三重大学医学部内講義室

2025年度第1回 三重総診レジデントデイを開催。新専攻医6名が新たに加わり、専攻医合計10名、指導医が参加。

ケースディスカッションとオリエンテーションを実施しました。

2) 地域救急ワークショップ 開催

○日時：2025年5月23日(金) 13:00～15:00

会場：三重大学探索医学研究棟3階 フリースペース

総合診療医の重要な能力の1つに救急患者への対応が挙げられる。LIC および総合診療科で研修中の学生・研修医

を対象に、救急患者症例への初期対応をシミュレーションし到達度の確認と知識の整理を行って、学生・研修医各々のスキルアップ、および今後の実習や研修に生かすことを目的にワークショップを開催した。

導入レクチャーののち、リーダー医師役、研修医役、看護師役に役割分担し、1人1症例ずつリーダー医師役を担当した。症例は窒息、緊張性気胸による閉塞性ショック、胃潰瘍による出血性ショック、橋梗塞、急性心筋梗塞による心原性ショックの5症例を取り挙げた。1症例毎に学生が何を考え、実践したのかを振り返り、より良い対応を可能にするために知識の確認を行なった。開始時は刻一刻と状態が変化する患者を前にして戸惑いが見られたが、症例を重ねるごとに救急医療のABCアプローチが確立されていき、チーム内での役割分担も明確化し、スムーズな診療ができるようになった。



<支部運営についての情報>

●各県の代表窓口

三重県；若林英樹、富山県；三浦太郎、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子、愛知県；佐藤寿一

●プログラム責任者の会中部ブロック代表；大浦誠

●中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください

中部ブロック支部事務局 kimura.etsuko.f2@f.mail.nagoya-u.ac.jp